

ISET-R 関係者各位

福島原発事故により放出された放射性核種の環境動態に関する学際的研究  
若手育成プログラム (A01-2 班)  
「ハイボリュームサンプラー等による大気試料の採取法と電顕分析」のご案内

新学術領域「放射能環境動態」を担う若手研究者に対し、大気試料の採取と電顕分析についての研修を下記の様に開催致します。本研修では、現地実習と気象研の電子顕微鏡を使用し、ハイボリュームサンプラー等の使用方法からフィルター試料の採取方法、また採取した試料の電顕分析までを習得することを目的とします。つきましては、若手の皆さんの積極的なご参加をお願い致します。

#### 記

日時：現地実習 11月6日(木)、11月20日(木) 8:30~17:00 雨天決行  
電顕分析研修 11月27日(木) 10:00~

場所：福島県双葉郡浪江町(11/6, 11/20) および 気象研究所(11/27)

担当：五十嵐 康人, 足立 光司, 財前 祐二(気象研究所・環境・応用気象研究部)  
北 和之(茨城大学理学部)

募集定員：10名まで(先着順) ※10月25日〆切

集合：11/6、11/20 8:30 浪江地区の最寄駅、もしくは水戸 ※参加人数により決めます  
遠方よりお越しの方は、前泊をご検討下さい。  
現地へは、茨城大グループの車に同乗して移動していただきます。  
11/27 気象研究所 10:00

解散：17:00 ころ 浪江地区の最寄駅、もしくは水戸 ※参加人数により決めます

持ち物：筆記および記録用具、雨具、長靴、タオル等、タイベックス、マスク、手袋などの汚染対策用具(タイベックス等の汚染対策用具はこちらでも準備できます。用意できない場合はご連絡下さい) ※長時間野外で作業します。各自対策をお願いします。

申し込み先：気象研究所・神谷様 [kankyo4@mri-jma.go.jp](mailto:kankyo4@mri-jma.go.jp) 029-853-8621

※旅費支援が必要な方は筑波大学・神志那(こうじな) [yurikojina@ies.life.tsukuba.ac.jp](mailto:yurikojina@ies.life.tsukuba.ac.jp) まで、ご連絡下さい。

スケジュール：

**【11/6、11/20】 現地実習**

- 8:30 観測車で浪江町津島地区へ移動
- 10:30 立ち入り前に軽食
- 10:30-11:00 作業の説明
- 10:30-14:00 津島地区内でセシウム粒子のサンプリング、作業実施
- 15:00—反省会兼軽食
- 17:00 浪江地区の最寄駅、もしくは水戸解散 ※参加人数により決めます。

**【11/27】 電顕分析研修**

- 10：00- 気象研究所にて、走査型電子顕微鏡（SEM）によるエアロゾル粒子の観察